第2章 緑のまちづくりに対する市民意識





アンケートの概要

緑は近年の地球温暖化、景観形成や防災、レクリエーションに欠かせない役割があります。 この緑豊かな環境を守り育て、公園や身近な緑など、緑全般について概ね20年後のあるべき姿 を想定するため、本調査を通じて、市民の視点から身近な緑や重点を置く施策等について、住民意 向を把握することを目的として実施しました。

◆調査対象

15歳(中学生)以上の千曲市民1,100人(住民基本台帳から無作為に抽出)

◆調査方式

アンケート調査(郵送による配布及び回収)

◆調査期間

平成23年9月1日から9月16日

◆調査内容

- ・千曲市の緑に関して
- ・ 今後の緑のまちづくりについて
- ・ 今後の緑のまちづくりの進め方について
- 市民による緑のまちづくり参加について
- 回答者の属性
- ・緑に関する自由意見

◆回収結果

配布数1,100に対し有効回収数は419であり、有効回収率は38.1%でした。 ※配布数のうち、4通は宛先不明で無効

[重点にすべき箇所及び意見要望]

【河川など水について】

- ■外来植物やゴミの除去など、河川らしい整備や 維持管理、河川眺望の保全に対する要望
- ■河川敷を活用した親水公園、緑地活用

【田園について】

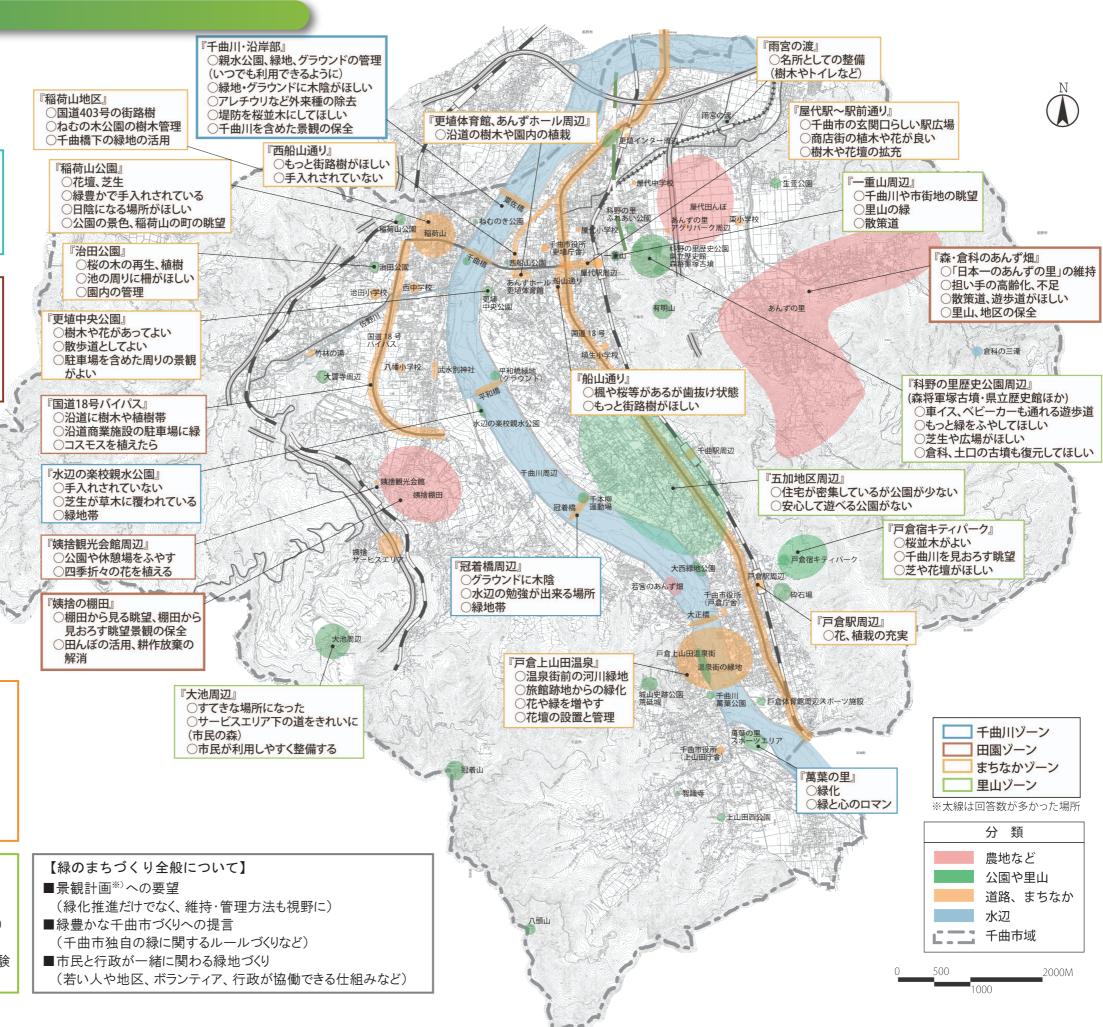
- ■農業体験等を通じた子どもたちの緑に関する 学習、意識醸成
- ■耕作放棄活用対策、農業従事者支援など 農地活用施策(新たな担い手、農地貸与支援など)
- ■鳥獣被害対策、農振地域維持による田園の保全

【まち・公園・緑地について】

- ■商店街の花・緑や街路樹の維持・管理体制づくり
- ■高齢者世帯等家庭緑地の維持·保全支援 (剪定·害虫駆除ほか)
- ■緑のカーテン^{※)}等エコ活動と連携した緑化活動の推進
- ■地域別の公園数に対する不満(地域間格差)
- ■既存公園が活用できる維持・管理体制づくり
- ■災害時の避難地、拠点となる防災面からの機能確保

【里山について】

- ■姨捨の棚田保全と観光開発(アクセス道路整備など) のバランス
- ■里山の観光活用(一体の植樹、トレッキングコースなど)
- ■里山管理のための支援(林道整備、担い手など)
- ■子どもたちの森林学習、植樹体験など緑についての体験



緑に対する市民の取り組み

緑の保全等への取り組み

① 緑の保全に取り組む市民団体

市内では多くの市民団体が緑の保全に取り組んでいます。(平成24年3月現在)

環境市民会議 千曲市の残したい自然マップ作成/千曲市版レッドデータブック作成/ 千曲市環境白書の作成/千曲川クリーン作戦への協力/ 巨樹・巨木の保護活動/戸倉等での街路樹や公園の管理/ 自然遊歩道・里山歩道の整備活動/河川やとんぼ池の整備等

姨捨棚田保全 名月会、田毎の月棚田保存同好会、四十八枚田保存会、科野農業塾、 棚田オーナー制度、耕作継続・支援

各地区 水上布奈山街並みの会、ふれあい通り再生支援まちづくりの会、屋代商業振興会、 各地区の公園・街路樹整備団体

NPO^{※)}等 千曲市林業研究グループ、NPO法人千曲の森、NPO法人千曲環境緑化協力会

- 市民による緑の教育 ・市内小学校と市民による街路樹の緑化活動 (記念樹、球根の植え付けなど)
 - ・社会福祉協議会と市民による園芸ボランティアの 育成のための園芸福祉講座

② 緑の保全に取り組む事業

● 森・倉科地区まちづくり交付金事業

■計画期間:平成17年度から平成21年度(5箇年)

■計画区域:森及び倉科地区 380ヘクタール

■目 標:「日本一のあんずの里」といわれる森・倉科地区の良好な景観、質の高 い生活空間及び自然型観光拠点の創造

- あんずの花に染まるのどかな農村風景を保全しつつ、良好な景観の形成を図る。
- 人々が、心の充実感が得られるような快適な生活環境の整備を図る。
- あんずを観光資源として活かし、観光客を地区内に誘導することにより、一層の地 域振興を図る。



図-30 森・倉科地区ウォーキングコース・散策路

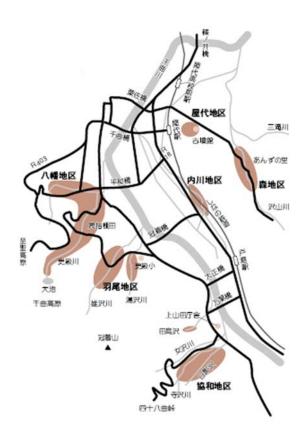
森・倉科地区まちづくり協議会では、地区の歴史遺産やあんず樹園地、社寺林などの緑 を散策して楽しめるようにウォーキングコースの設置が行われ、マップ等により広報も行 われています。

① 生物多様性保全に取り組む市民団体

- 千曲市生物多様性保全協議会(千曲市版レッドデータブック※)作成と保護活動)
- 千曲市環境市民会議(千曲市環境基本計画を実現することを活動目的とする)環境市民会議が主体となり千曲市版レッドデータブックの調査協力を行うなど、現況課題の 把握を行いながら解決に向けた環境活動を推進している。
- 沢山川ジャコウアゲハを守る会(生萱本誓寺橋東岸ウマノスズクサ自生地保護活動)
- 倉科の自然を守る会(倉科杉山古墳近くセツブンソウ群生地保護活動)
- 戸倉セツブンソウを育てる会(戸倉宿キティパーク南のセツブンソウ群生地保護活動)
- 森・川西・稲荷山等地域協議会(里山整備活動)
- 千曲川クリーン作戦 (千曲市区長会連合会等5.000人規模の清掃活動)
- 千曲市ホタル連絡会 (市内ホタル保護団体等により組織され、それぞれがホタル自生地保護 活動に取り組んでいます。

◆ホタルの生態系環境保全活動事例

ホタルを守る活動は、市内の各地で行われています。水質浄化や農薬散布の中止などととも に生息地域の美化など、美しい緑の育成に貢献している市民活動があります。



出典:千曲市ホームページ 図-31 ホタルが見られる地域 (H23 年)

② 市民とともに創る生物多様性保全事業

● 尾米川水環境創造事業

尾米川では、防災とともに親水空間や生き物の生息環境を意識した整備が行われました。この多自然型水路の整備は、周辺住民と協議をしながら行い、植栽も在来種の樹木を植えるなどの工夫をしました。

市内には千曲川の支流として河川や水路が沢山あり、尾米川のように水辺を活かした整備がまちの魅力や市民の意識向上につながります。

事業の概要

- (1) 洪水時に水を安全に流せる流路をつくります。
- (2) 護岸や河床は自然石や植物で被い、生物の生息・生育しやすい空間をつくります。
- (3) 川沿いの遊歩道、水辺のアプローチ階段、川に架かるデッキなどを整備して川と親しみ、やすらげる憩いの場をつくります。
- (4) 水辺には水生植物、川岸には樹木などを植栽して緑豊かな空間をつくります。
- (5) 下水道(汚水管)の整備を進め、水質浄化施設の設置、植物や土壌の自浄作用などで水をきれいにします。
- (6) 用水の取水等により流量を増やします。



尾米川環境整備事業